



さかいぎ

チャレンジアップ! かがやく自分

10月号

令和3年9月30日
横浜市立境木小学校

読書の秋 本をたくさん読みましょう

校長 清見 克明

分散登校による学校再開につきまして、保護者の皆様のご協力ありがとうございました。引き続き、感染拡大防止に努めてまいります。今後も学校行事の変更や、場合によっては学級閉鎖なども考えられます。その都度ご連絡させていただきまします。子ども達のために対応を、どうぞ宜しくお願いいたします。

「言うべきことを 言うべき如くに 言う そんな人間になりたい。」

この言葉は、小学校5、6年生の時、担任の先生からいただいた言葉です。その言葉のように、また、「言う」の部分を「やる」とか「する」とかに置き換えて、行動するように考えて来ました。

私が小学生の頃、土曜日にも授業がありました。土曜日の午後、子どもたちは学校から帰ると、友だちと遊びまわっていたのですが、担任の先生は参加できる子どもたちに、お弁当を持参させて、「読書会」をしていました。

今から五十年ほど前の話です。記憶に残っている限りでは、コロボックルシリーズの「だれも知らない小さな国」（佐藤さとる）から始まって、「豆つぶほどの小さないぬ」「星からおちた小さな人」などと続いていたと思います。

参加していた子どもたちは、読書をするのが楽しくなりました。その後も「ナルニア国物語」（C・S・ルイス）のシリーズ「ライオンと魔女」「カスピアン王子のつのおえ」と読書会は続いていきました。

今となっては、その読書会で、それぞれのシリーズなどを、どこまで読んだのか忘れてしまいましたが、個人的には「ナルニア国物語」のシリーズは全て読んだ記憶があります。子どもたちの間には「本を読む」習慣が根付いていきました。各々自分の好きな本を探して読書をしました。



「コロボックル物語」や「ナルニア国物語」は図書館にもあります。

現在のようにゲームがあるわけではなく、図書室から本を借りたり、友だちの本と交換し合ったりして読書をしていました。

毎秋、小学校5、6年の時のクラス会があります。昨年、今年とコロナ禍で開催できませんが、担任の先生とは季節のご挨拶はしています。一昨年、クラス会に集まったのは、18名ほどでした。鶴見区にある小学校で、学年は5クラスあり、1クラスに43名が在籍していました。現在は、横浜から離れて暮らしている同級生も多く、同窓会の名簿を見ると横浜に住んでいるのはクラスの三分の一ほどでした。そして、当時の学区に住んでいるのは、数名で

した。近況や、当時の思い出話など話が弾みました。境木小学校を卒業して、久しぶりに集まろうという話が出た時、皆が懐かしく集まれるようなクラスになると良いと思います。